

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第三千四百二十三號

海軍大臣官房

昭和十五年二月七日(水)

○令 達

官房第五九八號

昭和十四年度歳出科目中左ノ通追加ス

昭和十五年二月六日

海軍大臣

臨時部

款	項	目	節	解	疏	會計科目 電信略號
(水陸) 整備費	(軍港) 雜設備費	(與軍港) 雜設備費	兵器費			レセ
		(佐世保軍港) 雜設備費	兵器費			レス

官房第六一六號

昭和十二年官房第四三六八號中左ノ通改正シ昭和十五年二月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

昭和十五年二月七日

海軍大臣

第一類及第二類中「防備戰隊」ヲ「警備戰隊及防備戰隊」ニ改ム

(昭和十二年官房第四三六八號ハ戰時増修支給ニ關スル件ナリ)

○通 牒

經契第三號ノ二一五

昭和十五年一月一日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

昭和十四年度船體機關用銅管黃銅管統制

契約ニ關スル件通牒

首題契約書第一條第一項ニ依ル自昭和十五年一月一日

海軍公報(部内限)第三千四百二十三號

昭和十五年二月七日

一三九

0204

至昭和十五年三月三十一日期間ノ單價ハ改訂セザルニ付了知相成度

〇 辭令

海軍中佐 長屋 茂

高等軍法會議判士ヲ命ス

海軍艦政本部造船造兵監督  
會計官兼海軍航空本部造兵監督  
監督會計官海軍主計大佐

笹原 宮次郎

(各通)

海軍艦政本部造船造兵監督  
會計官兼海軍航空本部造兵監督  
監督會計官海軍主計中佐

岡田 米三郎  
齊藤 胤雄  
清水 信英

東京監査官ヲ命ス

海軍艦政本部造船造兵監督  
會計官兼海軍航空本部造兵監督  
監督會計官海軍主計大佐

幸村 忠一

(各通)

海軍艦政本部造船造兵監督  
會計官兼海軍航空本部造兵監督  
監督會計官海軍主計大佐

笠間 尙三  
居介 直記

大阪監査官ヲ命ス

海軍艦政本部造船造兵監督  
會計官兼海軍航空本部造兵監督  
監督會計官海軍主計大佐

關 徳四郎

福岡監査官ヲ命ス

名古屋監査官ヲ命ス

海軍艦政本部造船造兵監督  
會計官兼海軍航空本部造兵監督  
監督會計官海軍主計中佐

阿部 晃音

神戸監査官兼玉監査官ヲ命ス(以上前海軍省)

〇 雜款

〇 旗艦變更

第三遣支艦隊司令長官ハ二月四日旗艦ヲ瑞穂ヨリ磐手ニ變更セリ

〇 郵便物發送先

第二航空戰隊司令部、軍艦飛龍、第十一驅逐隊宛  
二月十三日迄ニ到達見込ノモノハ 兵庫縣武庫郡本庄

同 二十五日迄ニ

細 島  
志 布 志

同 七日迄ニ

鹿 兒 島  
沖繩縣與那原

同 二十五日迄ニ

軍艦蒼龍、驅逐艦吹雪宛  
横 須 賀

同 二月七日迄ニ到達見込ノモノハ

兵庫縣武庫郡本庄

同 二月十三日迄ニ

三月三日迄ニ同	志布志
其ノ後ハ	第二航空戦隊司令部ニ同シ
第二十二驅逐隊、長月、文月宛	廣島縣御調郡土生町 大阪鐵工所因島工場
自今	
驅逐艦水無月宛	吳 佐世保
驅逐艦皐月宛	佐世保
追テ司令、機關長、軍醫長、主計長宛	長月
尙司令宛ノ書類ニシテ各艦ニモ關係アルモノハ寫シ	
直接各艦宛送付相成度	
(第二十二驅逐隊)	
特務艦室戸宛	
二月十五日迄ニ到達見込ノモノハ	佐世保郵便局留置
同二十一日迄ニ同	東舞鶴
同二十五日迄ニ同	吳
三月二日迄ニ同	横須賀
同日迄ニ同	大坂
同日迄ニ同	吳
同日迄ニ同	佐世保
同日迄ニ同	吳
其ノ後ハ	吳

海軍公報(部内限)第三千四百二十三號 昭和十五年二月七日

0206

○艦船所在 指定ヲ要セス

○二月七日午前十時調

【横須賀】

春日▲三隈、足柄、夕張、山城▲蒼龍、迅鯨、比叡

島風▲灘風▲峯雲、吹雪

呂五七▲伊六九

富士▲膠州、洲崎▲尻矢

(高崎)▲(翔鶴)▲(伊一七)▲(伊二三)▲

【長浦】

沖島▲汐風、帆風、山雲

呂五四、呂五五、呂五六、伊一二三、

伊一二四、伊六、呂五八

掃五、掃六

【横濱】

(香取)▲(鹿島)▲

【浦賀】

北上▲漣▲狭霧▲

【大湊】

(早潮)▲(時津風)▲

【函館】

萩▲

【吳】

矢矧、淺間、淀、日向▲風翔、最上▲  
 嚴島▲鬼怒▲龍驤▲大鯨、扶桑▲大井、  
 長鯨、白鷹、勝利、球磨▲初鷹、  
 夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、  
 敷波、東雲、白雲、薄雲、叢雲、伊菊、  
 天霧、朝霧、夕霧、葵、水無月

呂五一、呂五三、呂二六▲呂二七▲  
 呂二八▲呂六三、呂六四、呂六八、  
 伊六三、伊五二▲伊五九▲伊一六、  
 伊一二一、伊六〇、伊五

伊掃一五▲掃一三▲掃一四▲掃一六▲  
 攝津▲隱戸、間宮

(日進)▲(伊九)▲(伊一五)▲  
 彌生▲如月▲夕月▲卯月▲黒潮▲  
 (阴田)▲(橋立)▲(夏潮)▲

【神戸】 木曾▲  
 伊一▲伊二▲伊三▲  
 (瑞鶴)▲(初風)▲(伊二〇)▲(伊二二)▲  
 (伊一九)▲(伊一〇)▲

【相生】 芙蓉▲刈萱▲  
 鶴見▲

【玉】 (蒼鷹)▲  
 伊四▲  
 (占守)▲

【因ノ島】 文月▲長月▲  
 平戸▲

【江田内】 平戸▲  
 (豊後水道) 矢風

【佐伯】 伊一二二  
 吾妻▲多摩▲龍田▲長良▲天龍

【舞鶴】 伊秋風▲夕風▲羽風、太刀風、朝顔▲  
 伊五二▲

0207

【佐世保】

▽親潮▲、(天津風)▲  
▽常磐、青葉▲、衣笠▲、加賀▲、名取▲、由良、川内▲、霧島、妙高▲、羽黒、那智、梨、竹、樫、桃、柳、檜、蓮、蓼、菱、▽葦▲、柿▲、楡▲、初春、菊月▲、▽三日月▲、▽夕風、朝風、▽阜月、▽呂三〇、▽呂三一、▽呂三二、▽呂六一、▽呂三四▲、▽呂三三▲、▽伊六二▲、▽呂六〇、▽伊六一▲、▽呂六二▲、▽伊六四▲、掃九

敷島▲、野島、佐多

(磯風)▲、(伊一八)▲、(伊二四)▲

【長崎】(檜野)▲

【古江】峯風、沖風

【鎮海】追風、疾風

【作業地】出雲、口安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、伏見、瑞穂、口磐手、口島海、嵯峨、千代田、口長門、陸奥、口金剛、榛名、口加古、古鷹、▽阿武隈、▽劍崎、▽赤城、口高雄、愛宕、▽熊野、鈴谷、▽利根、筑摩、▽神通、▽那珂、▽五十鈴、▽飛龍、伊勢、口千歲、駒橋、▽摩耶、神威、栗、梅、蓮、▽松風、朝風、▽若葉、初霜、

【航海中】

襟裳 (二月二十四日吳發—羅府へ)  
石廊 (二月二十八日羅府發—「ヒロ」へ)  
大泊 (四日小樽發—宗谷海峽へ)  
八重山、能登呂、▽呂六七、▽呂六五、▽呂六六、▽掃一〇、掃一二 (五日佐世保發—作業地へ)  
八雲 (六日館山發—吳へ)  
磯波 (七日小松島發—吳へ)  
神風、沼風 (七日長浦發—相模灘へ)  
▽掃一、掃二、掃三、掃四 (七日湊沖發—横須賀へ)

子日、▽春風、旗風、▽村雨、春雨、夕立、五月雨、▽江風、涼風、海風、山風、▽白露、夕暮、有明、時雨、▽綾波、浦波、▽大潮、朝潮、滿潮、荒潮、▽雪風、▽霞、陽炎、不知火、▽響、雷、電、曉、▽潮、曙、朧、▽初雪、白雪、▽望月、陰月、潭風、▽朝雲、夏雲

▽伊五三、▽伊五五、▽伊五四、▽伊五七、▽伊五六、▽伊五八、▽伊六七、▽伊六六、▽伊六五、▽伊七五、▽伊七四、▽伊六八、▽伊七〇、▽伊七一、▽伊七二、▽伊七三、▽伊八、▽掃七、掃一七、▽掃一八、掃八、▽朝日、明石、知床、鳴戸、室戸

(限 内 部)

海軍公報(部内限)第三千四百二十四號

海軍大臣官房

昭和十五年二月八日(木)

○通牒

官房第六三四號

昭和十五年二月八日

海軍次官

各廳長殿

國債買入ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通大藏次官ヨリ依頼有之候ニ付  
テハ可然勸奨方取計相成度

(別紙)

藏理第七一五號

昭和十五年一月三十日

大藏次官 大野 龍太

海軍次官 住山徳太郎殿

來ル二月十九日ヨリ三月一日迄第十四回支那事變國債  
郵便局賣出ヲ行フコトト相成候ニ就テハ貴管下各方面  
ニ對シ右國債ノ買入勸奨方何分ノ御盡力相煩度此段及

御依頼候也

軍需機密燃第四四號

昭和十五年二月七日

海軍省軍需局

關係各廳御中

潤滑油類ノ改善ニ關スル件照會

首題ニ關シテハ海軍燃料廠ニ於テ研究實驗ヲ行ヒ改善  
ヲ圖リ殊ニ外國品ノ防遏ニ付テハ銳意國産化ニ努メ相  
當ノ實績ヲ收メ居候處現下ノ情勢ニ在リテハ其ノ要一  
層切ナルモノ有之候ニ付各種潤滑油類(「グリース」ヲ  
モ含ム)ニシテ今尙外國品ヲ使用シツツアルモノ及現  
在使用中ノモノニシテ品質ノ改善ヲ要スルモノ等アラ  
ハ其ノ實狀詳細當局宛通知相成度

○辭令

井上 茂

海軍公報(部内限)第三千四百二十四號 昭和十五年二月八日

一四五

0209

霞ヶ浦海軍航空隊教授ヲ囑託ス

但シ報酬年額千貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇ト

ス(海軍省)

海軍中尉 田中 繁(初風)

驅逐艦初風審議委員ヲ命ス(前海軍艦政本部)

(各通)

海軍機關少佐 松本 總雄

海軍主計中佐 井川 一雄

海軍用語調査委員會臨時委員ニ指定ス(前海軍用語調査委員會委員長)

○ 雜 款

○ 正 誤

本月六日通牒欄官房機密第八三三號ノ二中「鮫島忠重」

ハ「鮫島具重」ノ誤(濟)

0210

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○二月八日午前十時調

【横須賀】

春日、三隈、足柄、夕張、山城、蒼龍、

迅鯨、比叡

島風、灘風、峯雲、吹雪

呂五七、伊六九

富士、膠州、洲崎、尻矢

(高崎)、(翔鶴)、(伊一七)、(伊二三)

【長浦】

沖島、沙風、帆風、山雲、沼風

呂五四、呂五五、呂五六、伊一二三、

伊一二四、伊六、呂五八

掃五、掃六、掃一、掃二、掃三、掃四

【横濱】

(香取)、(鹿島)

【浦賀】

北上、漣、狹霧

(早潮)、(時津風)

【伊東】

神風

【大湊】

野風

【函館】

呂五九

【吳】

矢矧、淺間、淀、日向、鳳翔、最上、

殿島、鬼怒、龍驤、大鯨、扶桑、大井、

長鯨、白鷹、勝力、球磨、初鷹

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、

敷波、東雲、白雲、薄雲、叢雲、菊

天霧、朝霧、夕霧、葵、水無月、磯波

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、

呂二八、呂六三、呂六四、呂六八、

伊六三、伊五一、伊五九、伊一六、

伊一一、伊六〇、伊五

掃一五、掃一三、掃一四、掃一六

攝津、隱戸

(日進)、(伊九)、(伊一五)

彌生、如月、夕月、卯月、黒潮

(岡田)、(橋立)、(夏潮)

【神戸】

木曾

伊一、伊二、伊三

(瑞鶴)、(初風)、(伊二〇)、(伊二二)

(伊一九)、(伊一〇)

相生、芙蓉、刈萱

鶴見

(蒼鷹)

【玉】

伊四

(占守)

【因ノ島】

文月、長月

【江田内】

平戸

豊後水道

矢風

佐伯、伊一二三

舞鶴、吾妻、多摩、龍田、長良、天龍

秋風、夕風、羽風、太刀風、朝顔

0211



【佐世保】

伊五二  
▽隼、鵜、鴻、鶺鴒、千鳥

(親潮) (天津風)

常磐、青葉、衣笠、加賀、名取、山良、

川内、霧島、妙高、羽黒、那智、

梨、竹、樞、桃、柳、檜、蕁、蓼、菱、

▽葦、柿、榆、初春、菊月、三日月、

▽夕風、朝風、▽阜月、

▽呂三〇、▽呂三一、▽呂三二、▽呂六一、

▽呂三四、▽呂三三、▽伊六二、▽呂六〇、

伊六一、▽呂六二、伊六四

掃九

敷島、野島、佐多

【長崎】

(櫻野)

(磯風) (伊一八) (伊二四)

【古江】

峯風、沖風

【鎮海】

追風、疾風

【作業地】

早鞆

▽出雲、▽安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、

保津、熱海、二見、伏見、瑞穂、▽磐手、

▽鳥海、嵯峨、千代田、▽長門、陸奥、

▽金剛、榛名、▽加古、古鷹、▽阿武隈、

▽劍崎、▽赤城、▽高雄、愛宕、▽熊野、鈴谷、

▽利根、筑摩、▽神通、▽那珂、▽五十鈴、

▽飛龍、伊勢、▽千歳、駒橋、▽摩耶、神威

栗、梅、蓮、▽松風、朝風、▽若葉、初霜、

子日、▽春風、旗風、▽村雨、春雨、

夕立、五月雨、▽江風、涼風、海風、山風、

▽白露、夕暮、有明、時雨、▽綾波、浦波、

▽大潮、朝潮、滿潮、荒潮、▽雪風、▽後霞、

陽炎、不知火、▽響、雷、電、曉、▽潮、

曙、朧、▽初雪、白雪、▽望月、望月、

澤風、▽朝雲、夏雲

▽伊五三、伊五五、伊五四、伊五七、

伊五六、伊五八、▽伊六七、伊七、伊六六、

伊六五、▽伊七五、伊七四、▽伊六八、

伊七〇、▽伊七一、伊七二、伊七三、伊八

鷺、鳩、雉、友鶴、初雁、▽真鶴

掃七、掃一七、▽掃一八、掃八

▽朝日、明石、知床、鳴戸、室戸

【航海中】

襟裳 (二月二十四日吳發—羅府—)

石廊 (二月二十八日羅府發—「ヒロ」—)

大泊 (四日小樽發—宗谷海峡—)

八重山、能登呂、▽呂六七、呂六五、呂六六、

▽掃一一、掃一〇、掃一二 (五日佐世保發—作業地—)

八雲 (六日館山發—吳—)

間宮 (七日吳發—大阪灣—)

0212

(限 内 部)

海軍公報(部内限)號外

海軍大臣官房

昭和十五年二月八日(木)

○ 令 達

官房第六〇九號

海軍購買名簿中左ノ通改正ス

昭和十五年二月七日

海 軍 大 臣

- 一 地金、礦石類第二二項中理研金屬株式會社ノ所在地ヲ宇部市大字小串沖海面埋立地ニ改ム
- 二 金屬、材料類第八項中東京コンヂツト製造株式會社ノ所在地及工場所在地ヲ川崎市港町七三ニ改ム
- 二 金屬、材料類第一四項、同第二二項、三機械、器具類第三二項、四 電氣機械、器具、材料類第一項乃至同第一〇項、同第一二項乃至同第一四項、同第四一、二項、同第五三項及同第六〇項中株式會社日立製作所日立工場ノ所在地ヲ日立市助川町ニ改ム
- 二 金屬、材料類第三〇項、同第三一、二項、同第三三、四項、同第三五項及同第四四項中大華鑛業株式會社ノ所在地ヲ新京特別市祝町三丁目一ニ改ム
- 二 金屬、材料類第三三項、同第三七項、同第四二項、同第五一、二項、同第五三、四項、同第五五、六項、

海軍公報(部内限)號外

0213

- 三 機械、器具類第一項、同第二項、四 電気機械、器具、材料類第二項、同第四項乃至同第九項、同第一二項、同第五四項、同第五七項及一四藥品類第八項中「株式會社川崎造船所」ヲ「川崎重工業株式會社」ニ改ム
- 二 金屬、材料類第三七項中日本鑄鋼株式會社ノ所在地ヲ東京市城東區大島町七丁目六五〇ニ改ム
- 二 金屬、材料類第四〇項中東洋ベアリング製造株式會社ノ工場所在地ヲ桑名市大字東方字土島二四五四ニ改ム
- 二 金屬、材料類第四〇項中光洋精工株式會社ノ所在地及工場所在地ヲ大阪市東成區中川町四丁目六〇ニ改ム
- 三 機械、器具類第二三項中合資會社黒田挾籠製作所ノ所在地及工場所在地ヲ東京市蒲田區原町四五ニ改ム
- 四 電気機械、器具、材料類第三〇項、同第三一項、同第三二項、同第三四項及同第三五項中「メトロ電球株式會社」ヲ「メトロ電気工業株式會社」ニ改ム
- 四 電気機械、器具、材料類第四八項、一〇 ガラス類第一項、同第三項、同第四項、一七 雜品類第七項及同第三六項中岩城硝子株式會社ノ所在地及工場所在地ヲ東京市蒲田區矢口町五三五ニ改ム
- 五 計器、通信器類第一六項中桑野電機株式會社ノ所在地及工場所在地ヲ東京市蒲田區原町一七七ニ改ム
- 一〇 ガラス類第三項中「合資會社日本安全硝子製作所」ヲ「秋場 要」ニ改メ工場名欄ニ日本安全硝子製

0214

作所ヲ加フ

- 一〇 ガラス類第五項中岩城硝子株式會社ノ所在地ヲ東京市蒲田區矢口町五三五ニ改ム
- 一一 ゴム類第二項、二〇 ベルト類第二項、同第四項及同第五項中横濱護謨製造株式會社ノ工場所在地在ラ横濱市鶴見區平安町二丁目一三一ニ改ム
- 一二 油脂、蠟類第一〇項、同第一二項及同第一五項中柏原製油合資會社ノ所在地及工場所在地ヲ大阪府中河内郡柏原町大字市村ニ改ム
- 一二 油脂、蠟類第一三項中「梅澤猪八」ヲ「梅澤善太郎」ニ改ム
- 一四 藥品類第一項及同第四項中「東硫化學工業株式會社」ヲ「保土谷化學工業株式會社」ニ改メ所在地在ラ東京市芝區今入町三ニ改ム
- 一四 藥品類第三項及一七 雜品類第一一項中「保土谷曹達株式會社」ヲ「保土谷化學工業株式會社」ニ改ム
- 一七 雜品類第一四項中「揖斐川電氣株式會社」ヲ「揖斐川電氣工業株式會社」ニ改メ所在地在ラ東京市麴町區有樂町二丁目九ニ、工場所在地在ラ大垣市北切石町四三五ニ改ム
- 一七 雜品類第一五項中大野理市ノ所在地在ラ神戸市湊區湊川町三丁目九ニ改ム
- 四 電氣機械、器具、材料類第六三項中株式會社江戶川工業所ノ所在地在ラ東京市麴町區丸ノ内二丁目六ニ

0215

改ム

官房機密第九五四號

臨時海軍購買名簿中左ノ通改正ス

昭和十五年二月七日

海軍大臣

臨時購買名簿之部

- 一 地金、礦石類第七項及同第二三項中三德工業株式會社ノ所在地ヲ東京市芝區田村町六丁目七ニ改ム
  - 二 金屬、材料類第三七項中株式會社關東鑄鋼所ノ所在地及工場所在地ヲ川口市青木町一丁目四五六ニ改ム
  - 三 機械、器具類第八項中「田野井丈之助」ヲ「株式會社田野井製作所」ニ改メ工場名ヲ削ル
  - 三 機械、器具類第一六項及四 電氣機械、器具、材料類第六一項中株式會社日立製作所ノ工場所在地ヲ日立市助川町ニ改ム
  - 四 電氣機械、器具、材料類第二三項中松下電器株式會社ノ所在地及工場所在地ヲ大阪府北河内郡門真町大字門真ニ改ム
- 部外祕購買名簿之部
- 一 砲類之部第一二項ノ二、四 火工兵器之部第二項、同第四項ノ二及同第七項ノ二中高野精密工業株式會

0216

社ノ所在地ヲ名古屋市南區笠寺町一ノ割一三ニ改ム

四 火工兵器之部第一〇項中松下電器株式會社ノ所在地及工場所在地ヲ大阪府北河内郡門真町大字門真ニ改ム

一五 發電機之部(兵器)第二項中株式會社日立製作所日立工場ノ所在地ヲ日立市助川町ニ改ム

一五 發電機之部第二項中「株式會社川崎造船所」ヲ「川崎重工業株式會社」ニ改ム

二一 無線電信電話之部(兵器)第二六項、同第三七項及同第三九項中松下無線株式會社ノ所在地及工場所在地ヲ大阪府北河内郡門真町大字門真ニ改ム

二一 無線電信電話之部(兵器)第四三項中岩城硝子株式會社ノ所在地及工場所在地ヲ東京市蒲田區矢口町五三五ニ改ム

0217

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千四百二十五號

昭和十五年二月九日(金)

海軍大臣官房

○令 達

官房第六三五號

達第二十二號ヲ以テ改正セル左記艦營需品定額表品名ノ定數ヲ左ノ通改ム

昭和十五年二月八日

海軍大臣

航海長 主管

區別	類別	番號	品名	數稱	定數
備品	六	一五	海軍信號旗	巾	枚
同	六		一巾	巾	枚
同	六		二巾	巾	枚
同	六		三巾	巾	枚

舊品名「甲、乙、丙、丁、戊」ニ區分シ、  
 其時ノ定數ヲ其儘合算シ、  
 タルモノヲ本定數トス

官房機密第一二號ノ六

昭和十五年二月九日

海軍大臣

各鎮守府司令長官殿  
兵器簿ノ件通達

各艦船部隊學校兵器簿砲術長主管諸要具之部ヲ削除(用紙一枚採取)ス

○通 牒

官房機密第一〇三〇號

昭和十五年二月九日

海軍次官

關係各廳長殿

兵器名稱附與ニ關スル件申進

大正十五年官房機密第一四七號首題申進別紙兵器名稱附與標準第一號中「極祕兵器」ヲ「軍極祕兵器」ニ、第三號(イ)中「紀元年數ノ十位以下ヲ以テス」ヲ「紀元

内令提  
要登載

海軍公報(部内限) 第三千四百二十五號

昭和十五年二月九日

一四九

0218



海軍公報(部内限) 第三千四百二十五號 昭和十五年二月九日

一五〇

年數ノ十位以下ヲ以テス但シ紀元二千六百年ニ完成又ハ採用ノ兵器名稱ハ零式トシ紀元二千六百年迄ハ夫夫一式、二式、三式、四式トスニ改メラレ候

(内令提要卷三、二四四頁参照)

艦本機密第二七〇八號 昭和十五年二月九日 第一號 第六一六

昭和十五年二月九日

海軍省軍務局長  
海軍艦政本部長

關係各廳長殿

陸戦用無煙火藥火工兵器貯藏検査ニ  
關スル件申進

首題ノ件當分ノ間別紙ノ通施行スルコトニ定メラレ候

(別紙一葉添)

艦本機密第一三一號

航空發動機用附屬品及動力關係艦裝品ノ名稱並ニ製造

番號附與様式ヲ左ノ通定ム

昭和十五年一月八日

海軍航空本部長  
航空發動機用附屬品及動力關係艦裝品ノ  
名稱並ニ製造番號附與様式

一、航空發動機用附屬品及動力關係艦裝品ノ名稱様式

(一) 制式附屬品及動力關係艦裝品ノ名稱

「△△△」×〇」型「□」(例油壓ポンプ一型

右)

(註) (イ) 「△△△」ハ附屬品及動力關係艦裝品ノ種別

ヲ表ハス

(ロ) 「×〇」ハ數字二字ヲ以テ型式ヲ表ハン最初

ノ數字「×」ハ同種類ノ附屬品又ハ動力關係

艦裝品ニテ重要ナル性能ノ相違ヲ順序ニ表示

シ最後ノ數字「〇」ハ重要ナル構造ノ變更ヲ

順序ニ表示スルモノトス

(ハ) 「□」ニハ左右回轉方向ヲ明示スル必要アル

場合ハ文字左又ハ右ヲ用ヒ區別スルモノトス

(ニ) 型式ノ最初ノ數字「×」ヲ等シクスル附屬

品及動力關係艦裝品型式ノ總稱ハ左ノ例ニ依

ル

(例) 五一型ヨリ五九型ニ至ルモノヲ五〇型ト

總稱ス

(二) 制式附屬品及動力關係艦裝品ノ改造型試製中ノ

呼稱

「×〇」型改

0219



<p>(註)「×○」ハ制式附屬品及動力關係艦裝品ノ型式ヲ示シ「改」ハ改造型試製中ヲ意味シ要スレバ「改」ノ次ニ改造ノ順序ヲ示ス數字ヲ使用スルコトヲ得</p> <p>(三) 試製附屬品及動力關係艦裝品ノ名稱共ノ都度之ヲ定ム</p> <p>二、航空發動機用附屬品及動力關係艦裝品ノ製造番號</p>	<p>樣式</p> <p>(一) 制式附屬品及動力關係艦裝品ノ製造番號</p> <p>○×○第×○一〇〇一號</p>	<p>(註)イ) ○×○ハ製造所名ノ略字ヲ示ス</p> <p>ロ) ×○ハ前出制式附屬品及動力關係艦裝品名稱中ノ「×○」ニ同ジ</p> <p>ハ) 一〇〇一ハ附屬品及動力關係艦裝品ノ實際ノ製造番號ヲ示シ一貫番號ヲ附與スルモノトス</p> <p>(二) 試製附屬品及動力關係艦裝品ノ製造番號</p> <p>試、號</p> <p>(註)イ) 〃ハ實際ノ製造番號ヲ示ス</p> <p>ロ) 本樣式ハ制式附屬品及動力關係艦裝品ノ改造型試製中ノモノニ對シテモ同様トス</p>	<p>但シ</p> <p>(1) 磁石發電機、氣化器及既製起動器ニハ當分ノ間本樣式ヲ適用セズ</p> <p>(2) 点火栓名稱附與樣式ハ昭和十三年航本機密第五八〇三號ニ依ルモノトス</p>	<p>○雜款</p>	<p>○將旗掲揚</p> <p>第十一聯合航空隊司令官代理ハ二月六日將旗ヲ復ケ浦海軍航空隊ニ掲揚セリ</p>	<p>○軍艦迅鯨行動豫定</p> <table border="1"> <tr> <th>地名</th> <th>着</th> <th>發</th> </tr> <tr> <td>横須賀</td> <td>二月十七日</td> <td>二月十二日</td> </tr> <tr> <td>サイパン</td> <td>二月二十五日</td> <td>二月十八日</td> </tr> <tr> <td>上海</td> <td>二月二十九日</td> <td>二月二十七日</td> </tr> <tr> <td>佐世保</td> <td>三月三日</td> <td>三月二日</td> </tr> <tr> <td>徳山</td> <td>三月四日</td> <td>三月四日</td> </tr> <tr> <td>吳須賀</td> <td>三月七日</td> <td>三月五日</td> </tr> </table>	地名	着	發	横須賀	二月十七日	二月十二日	サイパン	二月二十五日	二月十八日	上海	二月二十九日	二月二十七日	佐世保	三月三日	三月二日	徳山	三月四日	三月四日	吳須賀	三月七日	三月五日	<p>○郵便物發送先</p> <p>軍艦迅鯨宛</p>
地名	着	發																										
横須賀	二月十七日	二月十二日																										
サイパン	二月二十五日	二月十八日																										
上海	二月二十九日	二月二十七日																										
佐世保	三月三日	三月二日																										
徳山	三月四日	三月四日																										
吳須賀	三月七日	三月五日																										

0220

海軍公報(部内限)第三千四百二十五號 昭和十五年二月九日 一五一

三月二日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保  
同日迄ニ同 吳  
其ノ後ハ 横須賀

軍艦勝力宛

二月十三日迄ニ到達見込ノモノハ 吳  
其ノ後ハ 高雄郵便局留置

驅逐艦沼風、神風宛

自今 大湊

○事務所設置

橋立艦裝員事務所ヲ大阪市此花區櫻島南之町一七大阪  
鐵工所内ニ設置シ二月五日ヨリ事務ヲ開始セリ

○事務所設置

吳鎮守府潜水艦引揚作業隊事務所並ニ陸上假設無線電  
信所ヲ二月五日撤去セリ  
追テ殘務整理ハ吳鎮守府内ニ於テ行フ

○書類發送先ニ關スル件

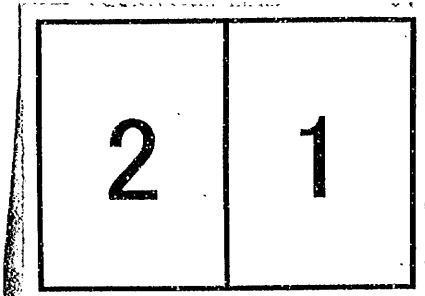
本艦宛書類ヲ往々第六潜水隊へ誤送セララルル向有之事  
務處理上不都合ヲ生ズルニ付書類等發送ニ當リテ八十  
分御留意方相成度

(伊號第六潜水艦)

○本日普通公報發行セズ

0221

## 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3版以上のため
文書等名	
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

陸軍用無煙火藥火工兵器貯藏檢査規則及同檢査試驗法案

第一章 總則

第一條 本則ハ陸軍用無煙火藥火工兵器ノ貯藏檢査及同檢査試驗法ニ關スルコトヲ規定ス

第二條 本則ニ於テ陸軍用無煙火藥火工兵器トハ、無煙拳銃藥、無煙小銃藥、方形藥、帶狀藥、空包藥及九二式管狀無煙火藥(以下單ニ無煙火藥ト總稱ス)竝ニ此等火藥ヲ包裝シタル裝藥、裝藥包、彈藥包及空包ヲ謂フ

無煙拳銃藥、無煙小銃藥、方形藥又ハ帶狀藥ニシテ水密處理後乾燥ヲ行ヒ規定ノ水分トシタルモノヲ水修火藥ト呼ブ

第三條 無煙火藥火工兵器中九二式管狀無煙火藥及同火工兵器ノ貯藏檢査ニ關シテハ火藥火工兵器貯藏檢査規則ニ依ルモノトス

第四條 口徑二〇耗未滿ノ機銃彈藥包及小銃彈藥包ニ付テハ藥質檢査ヲ要セズ但シ必要ヲ認メタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 製造後二年以上ヲ經過シタル水修火藥及製造後五年以上ヲ經過シタル空包藥ハ棄却スベシ

第二章 貯藏檢査

第六條 無煙火藥火工兵器ノ貯藏檢査ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ施行ス

- 一 定期檢査
  - (イ) 檢査回数 一年二回
  - (ロ) 檢査請求時期 三月一日乃至三十一日及九月一日乃至三十日
  - (ハ) 受驗品目及檢査品採擇數

受驗品目	製造後經過年數	檢査スベキ箱數(箱ノ單位)	檢査數	備考
火藥箱(罐)ニ收メタル無煙火藥	五年未滿	〇〇〇箱又ハ〇〇〇箱未滿	一箱	檢査スベキ箱數ノ單位ハ種目毎ニ別口トシ格納口別毎ニ算定スルモノトス但シ戰時應急用トシテ火藥庫以外ノ場所ニ貯藏シタル無煙火藥ハ別口トス
	五年未滿	〇〇〇箱又ハ〇〇〇箱未滿	二箱	
	五年以上	〇〇〇箱又ハ〇〇〇箱未滿	一箱	
無煙火藥	五年以上	〇〇〇箱又ハ〇〇〇箱未滿	一〇〇分ノ一	
	一〇年以上	〇〇〇箱又ハ〇〇〇箱未滿	一〇〇分ノ三	
火工兵器	五年以上	〇〇〇箱又ハ〇〇〇箱未滿	一〇〇分ノ五	

- (ニ) 提出書類 請求書様式一號一通及檢査表様式甲號四通(火藥火工兵器貯藏檢査規則ニ依ル)
- (ホ) 檢査種類
  - (一) 貯藏狀態檢査(火藥火工兵器貯藏檢査規則ニ依ル)
  - (二) 外貌檢査
  - (三) 耐熱試驗
  - (四) 銀瓶試驗(水修火藥及空包藥ヲ除ク)
  - (五) 效力試驗(火藥火工兵器貯藏檢査規則ニ依ル)

二 臨時檢査

- (イ) 新規受入選納品等ニシテ檢査ノ必要アル場合
- (ロ) 水ニ浸潤サレタルカ若ハ其ノ疑アルトキ又ハ毀損其ノ他ノ原因ニ依リ效力若ハ安定度ニ疑アル場合
- (ハ) 四週間以上攝氏三八度以上ニ遭遇シタル場合

第七條 採擇檢査品ニハ部隊名、庫名、種類、種目及裝填年月日ヲ記入シタル附箋ヲ添附スベシ

第八條 無煙火藥ノ外貌檢査ハ火藥ノ外貌、臭氣、靱性等ヲ詳細ニ檢査シ左ノ標準ニ依リ良否ヲ決定スベシ

項目	良否		無煙小銃藥、方形藥、帶狀藥	無煙拳銃藥	處置
	良	不			
外貌	(イ) 綠色又ハ濃綠色ニシテ彈力アルモノ	(イ) 綠色又ハ濃綠色ニシテ彈力アルモノ	(ハ) 黃色ノ斑點アルモノ	(ロ) 黑色ニシテ彈力アルモノ	淡黃綠色又ハ淡綠色ノ粒狀
	(ロ) 黑色ニシテ彈力アルモノ	(ロ) 黑色ニシテ彈力アルモノ			
靱性	(ハ) 黃色ノ斑點アルモノ	(ハ) 黃色ノ斑點アルモノ	(ニ) 黃褐色ノ斑點アルモノ	(ホ) 黃褐色ノ斑點擴大セルモノ又ハ藥片ノ大部分黃褐色ニ變ジタルモノ	速ニ棄却スベシ
	(ニ) 黃褐色ノ斑點アルモノ	(ニ) 黃褐色ノ斑點アルモノ			
臭氣	(ホ) 黃褐色ノ斑點擴大セルモノ又ハ藥片ノ大部分黃褐色ニ變ジタルモノ	(ホ) 黃褐色ノ斑點擴大セルモノ又ハ藥片ノ大部分黃褐色ニ變ジタルモノ	(イ) 臭氣ナキモノ又ハ固有ノ臭氣ヲ有スルモノ	(ハ) 藥質脆弱トナレルモノ	速ニ棄却スベシ
	(イ) 臭氣ナキモノ又ハ固有ノ臭氣ヲ有スルモノ	(イ) 臭氣ナキモノ又ハ固有ノ臭氣ヲ有スルモノ			
不良	(ロ) 刺戟性ニシテ硝酸的臭氣アルモノ	(ロ) 刺戟性ニシテ硝酸的臭氣アルモノ			速ニ棄却スベシ

第九條 無煙火藥ハ安定度試驗ノ結果ニ依リ左ノ如ク處理スベシ但シ水修火藥及空包藥ニ付テハ銀瓶試驗ヲ行ハサルモノトス

藥種	銀瓶時間		優(銀瓶試驗ヲ行フヲ要セズ艦船ニ搭載シ得)	七〇〇時間未滿
	耐熱時間(七十一度試驗)	(八十度試驗)		
無煙小銃藥、方形藥、帶狀藥及無煙拳銃藥	五〇分	以上	良(艦船ニ搭載シ得)	七〇〇時間未滿
	五〇分未滿二〇分以上	以上		
無煙拳銃藥	二〇分未滿二〇分以上	以上	可(貯藏シ得)	七〇〇時間未滿
	二〇分未滿二〇分以上	以上		

(イ) 検査請求時期 三月一日乃至三十一日及九月一日乃至三十日  
 (ハ) 受驗品目及検査品採擇數

受驗品目	製造後經過年數	検査スベキ箱數	検査數	備考
火藥箱(罐)ニ收メタル無煙火藥	五年未滿	二〇〇箱又ハ二〇〇箱未滿	一箱	検査スベキ箱數ノ單位ハ種目毎ニ別口トシ格納口別毎ニ算定スルモノトス但シ戰時應急用トシテ火藥庫以外ノ場所ニ貯藏シタル無煙火藥ハ別口トス
	五年以上	二〇〇箱又ハ二〇〇箱未滿	二箱	
無煙火藥 火工兵器	五年未滿	總數	一〇〇分ノ一	
	五年以上	總數	一〇〇分ノ三	
	一〇年以上	總數	一〇〇分ノ五	

(ニ) 提出書類 請求書様式一號一通及検査表様式甲號四通(火藥火工兵器貯藏検査規則ニ依ル)  
 (ホ) 検査種類 (一) 貯藏状態検査(火藥火工兵器貯藏検査規則ニ依ル)

- (二) 外観検査  
 (三) 耐熱試験  
 (四) 銀瓶試験(水修火藥及空包藥ヲ除ク)  
 (五) 效力試験(火藥火工兵器貯藏検査規則ニ依ル)

二 臨時検査

(イ) 新規受入還納品等ニシテ検査ノ必要アル場合  
 (ロ) 水ニ浸潤サレタルカ若ハ其ノ疑アルトキ又ハ毀損其ノ他ノ原因ニ依リ效力若ハ安定度ニ疑アル場合  
 (ハ) 四週間以上攝氏三八度以上ニ遭遇シタル場合

第七條 採擇検査品ニハ部隊名、庫名、種類、種目及裝填年月日ヲ記入シタル附箋ヲ添附スベシ  
 第八條 無煙火藥ノ外観検査ハ火藥ノ外観、臭氣、靱性等ヲ詳細ニ検査シ左ノ標準ニ依リ良否ヲ決定スベシ

項目	良否	無煙小銃藥、方形藥、帶狀藥		無煙拳銃藥處置
		無煙小銃藥、方形藥、帶狀藥	無煙拳銃藥	
外 貌	良	(イ) 綠色又ハ濃綠色ニシテ彈力アルモノ (ロ) 黑色ニシテ彈力アルモノ	淡黃綠色又ハ淡綠色ノ粒狀	速ニ棄却スベシ
	不 良	(ハ) 黄色ノ斑點アルモノ (ニ) 黃褐色ノ斑點アルモノ (ホ) 黃褐色ノ斑點擴大セルモノ又ハ藥片ノ大部分黃褐色ニ變ジタルモノ (ヘ) 藥質脆弱トナレルモノ		
靱 性	良	(イ) 臭氣ナキモノ又ハ固有ノ臭氣ヲ有スルモノ (ロ) 刺激性ニシテ硝酸的臭氣アルモノ		速ニ棄却スベシ
	不 良			

第九條 無煙火藥ハ安定度試験ノ結果ニ依リ左ノ如ク處理スベシ但シ水修火藥及空包藥ニ付テハ銀瓶試験ヲ行ハザルモノトス

藥 種	銀瓶時間(八十度試験)		七〇〇時間以上	七〇〇時間未滿
	耐熱時間(七十二度試験)	五〇分以上		
無煙小銃藥、方形藥、帶狀藥及無煙拳銃藥	五〇分未滿二〇分以上	優(銀瓶試験ヲ行フヲ要セズ艦船ニ搭載シ得)		
	二〇分未滿一二分以上	可(貯藏シ得)		
	一二分未滿	不良(棄却ス)		

第三章 検査試験法

第十條 陸戰用無煙火藥火工兵器貯藏検査試験ノ耐熱試験及銀瓶試験ハ左ニ依リノ外火藥火工兵器貯藏検査規則ニ依ルモノトス  
 試料ノ調製法

- 一 三號以上ノ帶狀藥ハ藥片ノ一端ヨリ約三耗ノ幅ニ切斷シ之ヲ火藥火工兵器貯藏検査規則ニ準ジ粉砕篩分ス  
 二 一號帶狀藥、五耗方形藥及一號方形藥ハ缺ヲ用ヒテ一邊ニ直角ニ約一耗ノ幅ニ切斷シタルモノヲ又二號帶狀藥及二號方形藥ハ缺ヲ用ヒテ短キ邊ニ直角ニ二分シタル後之ト直角方向ニ約一耗ノ幅ニ切斷シタルモノヲ試料トス  
 三 無煙小銃藥、零耗五方形藥、零耗六方形藥及空包藥ハ原形ノ儘ヲ試料トス  
 第十一條 陸戰用無煙火藥ノ銀瓶試験ニ關スル實施要領ハ左表ニ依ルモノトス

試 験 法	銀瓶溫度	水蒸氣室溫度	終 結 溫 度
八十度試驗	八〇度	七五度	八二度

○艦船所在 指定ヲ要セズ

○二月九日午前十時調

【横須賀】春日▲、三隈▲、足柄▲、夕張▲、山城▲、迅鯨▲、

比叡

島風▲、灘風▲、峯雲

呂五七▲、伊六九

富士▲、膠州▲、洲崎▲、尻矢

(高崎)▲、(翔鶴)▲、(伊一七)▲、(伊二三)▲

【長浦】

沖島

沙風▲、帆風▲、沼風▲、神風

呂五四▲、呂五五▲、呂五六▲、伊一二三▲、

伊一二四▲、伊六▲、呂五八

掃五▲、掃六▲、掃一▲、掃二▲、掃三▲、掃四▲

【横濱】

(香取)▲、(鹿島)▲

北上▲

漣▲、狭霧▲

(早潮)▲、(時津風)▲

【大湊】

波風▲、野風

呂五九

萩▲

【函館】

矢矧▲、淺間▲、淀▲、日向▲、風翔▲、最上▲、

巖島▲、鬼怒▲、龍驤▲、大鯨▲、扶桑▲、大井▲、

長鯨▲、白鷹▲、勝利▲、球磨▲、▽初鷹▲、

夕顔▲、吳竹▲、若竹▲、早苗▲、薄▲、藤▲、葛▲、

敷波▲、▽東雲▲、白雲▲、薄雲▲、叢雲▲、▽菊▲、

▽天霧▲、朝霧▲、夕霧▲、葵▲、水無月▲、磯波▲

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲、

呂二八▲、呂六三▲、呂六四▲、呂六八▲、

伊六三▲、伊五一▲、伊五九▲、伊一六▲、

伊二二▲、伊六〇▲、伊五

▽掃一五▲、掃一三▲、掃一四▲、掃一六▲

攝津▲、隠戸

(日進)▲、(伊九)▲、(伊一五)▲

彌生▲、如月▲、夕月▲、卯月▲、黒潮▲

(隅田)▲、(橋立)▲、(夏潮)▲

木曾▲

伊一▲、伊二▲、伊三▲

(瑞鶴)▲、(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲

(伊一九)▲、(伊一〇)▲

芙蓉▲、刈萱▲

鶴見▲

(蒼鷹)▲

伊四▲

(古守)▲

文月▲、長月▲

平戸▲

吾妻▲、多摩▲、龍田▲、長良▲、天龍

▽秋風▲、夕風▲、羽風▲、太刀風▲、朝顔▲

伊五二▲

▽華▲、鴨▲、鴻▲、鶴▲、千鳥

(親潮)▲、(天津風)▲

海軍公報(部内限)第三千四百二十五號 昭和十五年二月九日

一五三

0224

【佐世保】

常磐、青葉、衣笠、加賀、名取、由良、川内、霧島、妙高、羽黒、那智、八重山、能登呂

梨、竹、樵、桃、柳、檜、蕁、蓼、蓬、菱、

▽葦、梯、楡、初春、菊月、三月月、

▽夕風、朝風、▽早月

▽呂三〇、▽呂三一、▽呂三二、▽呂六一、

▽呂三四、▽呂三三、▽伊六二、▽呂六〇、

▽伊六一、▽呂六二、▽伊六四、▽呂六七、

▽呂六五、▽呂六六

▽掃一〇、掃九、掃一一、掃一二

敷島、野島、佐多

(磯風) (伊一八) (伊二四) (磯野)

【長崎】(樺野)

【古江】峯風、沖風

【鎮海】追風、疾風

【作業地】出雲、安宅、鳥羽、勢多、壘田、比良、

保津、熱海、二見、伏見、瑞穂、磐手、

▽鳥海、嵯峨、千代田、▽長門、陸奥、

▽金剛、榛名、▽加古、古鷹、▽阿武隈、

▽劍埼、▽赤城、▽高雄、愛宕、▽熊野、鈴谷、

▽利根、筑摩、▽神通、▽那珂、▽五十鈴、

▽飛龍、伊勢、▽千歳、駒橋、▽摩耶、神威、

栗、梅、選、▽松風、朝風、▽若葉、初霜、

子日、▽春風、旗風、▽村雨、春雨、

【航海中】

襟裳 (二月二十四日吳發—羅府)

石廊 (二月二十八日羅府發—ヒロ)

大泊 (四日小樽發—宗谷海峽)

八雲 (六日館山發—吳)

若龍 (八日横須賀發—阪神沖)

早朝 (八日「タラカン」發—「マニラ」)

矢風、▽伊一二二 (九日佐伯發—吳)

夕立、五月雨、▽江風、涼風、海風、山風、

▽白露、夕暮、有明、時雨、▽綾波、浦波、

▽大潮、朝潮、滿潮、荒潮、▽雪風、▽霞、霞、

陽炎、不知火、▽響、雷、電、曉、▽潮、

曙、朧、▽初雪、白雪、▽翌月、陸月、

澤風、▽朔雲、夏雲、山雲

▽伊五三、伊五五、伊五四、伊五七、

▽伊五六、伊五八、▽伊六七、伊七、伊六六、

▽伊六五、▽伊七五、伊七四、▽伊六八、

▽伊七〇、▽伊七一、伊七二、伊七三、伊八

鸞、鳩、雉、友鶴、初雁、▽翼鶴

掃七、掃一七、▽掃一八、掃八

▽朝日、明石、知床、鳴戸、室戸、間宮

# 海軍公報 (部内限) 第三千四百二十六號

海軍大臣官房

昭和十五年二月十日(土)

## ○ 辭令

海軍省事務囑託ヲ解ク

通信書記 種子島 爲春

海軍省事務ヲ囑託ス (十一月二十六日海軍省)

同 小森 良一

佐世保海軍港務部ニ於ケル海軍軍用郵便監督事務囑託ヲ解ク (十一月同)

通信事務官 本間 忠治

通信事務員 丸山 敏治

海軍省事務囑託ヲ解ク

同 岸田 梅司

海軍省事務ヲ囑託ス (以上十一月同)

海軍艦政本部附兼造船監督官

海軍技師 宇野田 巖

神戸監理官ヲ命ス

神戸監査官ヲ命ス

通信書記 齋藤 春一

(各通)

同 浦岡 榮治  
同 梅田 庄平  
同 大畑 要一

第一海軍軍要郵便所員ヲ命ス

(各通)

勳七等 松田 大九郎  
同 休山 熊雄  
同 小野寺 量策

海軍省事務ヲ囑託シ部内限判任官待遇トス

石井 文雄

海軍ニ於ケル造機業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス (以上同)

囑託 石井 文雄

海軍艦政本部長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ (海軍大臣)

海軍主計中尉 林田 悠紀夫

驅逐艦初風艦裝具ニ要スル經費支拂ノ爲臨時資金前

渡官吏ヲ命ス (前支出官海軍省經理局長)

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千四百二十六號 昭和十五年二月十日

二五五

0226



○雜款

○司令掃海艇變更  
第一掃海隊司令ハ二月八日司令掃海艇ヲ第一號掃海艇ヨリ第三號掃海艇ニ變更セリ

○作業開始  
海軍航空技術廠霞ヶ浦出張所本月一日左記ニ依リ作業ヲ開始セリ(霞ヶ浦修理工場ト稱セシモノ)

茨城縣稻敷郡阿見村(電話 阿見 三八番)  
出張所長 海軍機關大佐 杉 本 修

○軍事教育圖書  
去ル一月申納庫セル軍事教育(普)圖書左ノ如シ  
(海軍文庫)

圖書名	標記番號	類別番號
戰爭史 西洋近世篇	海軍省教普第八四七號D	備品九類三五D
リッツ電氣機械	海軍省教普第一二八一號普	備品九類三四六
交流電氣機械	海軍省教普第一二八二號普	備品九類三四七
模範邦文タイプライター打ち方解説	海軍省教普第一二七八號普	備品一類一〇九

0227

○艦船所在 指定ヲ要セズ

○二月十日午前十時調

【横須賀】

春日、三隈、尾柄、夕張、山城、迅鯨、比叡

島風、灘風、峯雲、朝雲、夏雲、山雲

呂五七、伊六九

掃一、掃二、掃三、掃四

富士、膠州、洲崎、尻矢

(高崎)、(翔鶴)、(伊一七)、(伊二三)

沖島

沙風、帆風、沼風、神風

呂五四、呂五五、呂五六、伊一二三、伊一二四、伊六、呂五八、掃五、掃六

(香取)、(鹿島)

北上

漣、狹霧

(早潮)、(時津風)

瑞穂

波風、野風

呂五九

萩

矢矧、淺間、淀、日向、鳳翔、最上

嚴島、鬼怒、龍驥、大鯨、扶桑、大井、長鯨、白鷹、勝力、球磨、初鷹、八雲、夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛

吳

敷波、東雲、白雲、薄雲、叢雲、菊、天霧、朝霧、夕霧、葵、水無月、磯波、矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、呂六三、呂六四、呂六八、伊六三、伊五一、伊五九、伊一六、伊一二二、伊一二一、伊六〇、伊五

掃一五、掃一三、掃一四、掃一六

攝津、隱戸

(日進)、(伊九)、(伊一五)

彌生、如月、夕月、卯月、黑潮

(岡田)、(橋立)、(夏潮)

木曾

伊一、伊二、伊三

(瑞鶴)、(初風)、(伊二〇)、(伊二二)、(伊一九)、(伊一〇)

芙蓉、刈萱

鶴見

(蒼鷹)

伊四

(占守)

文月、長月

平戸

(因ノ島)

吾妻、多摩、龍田、長良、天龍

(江田内)

秋風、夕風、羽風、太刀風、朝顔

(舞鶴)

相生

玉

大 阪

神 戸

相 生

玉

因ノ島

江田内

舞鶴

秋風

夕風

羽風

太刀風

朝顔

0228

伊五二▲  
 伊軍▲、鴨▲、鴻▲、鶴▲、千鳥▲  
 (親潮)▲、(天津風)▲  
 常磐、青葉▲、衣笠▲、加賀▲、名取▲、由良、  
 川内▲、霧島、妙高▲、羽黑、▽八重山、  
 能登呂

梨、竹、樵、桃、柳、檜、蕁、蓼、蓬、菱、  
 草▲、柿▲、楡▲、初春、菊月▲、▽三日月▲  
 夕風、朝風、▽阜月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六一、  
 呂三四▲、呂三三▲、▽伊六二▲、呂六〇、  
 伊六一▲、呂六二▲、伊六四▲、▽呂六七、  
 呂六五、呂六六  
 掃一〇、掃九、掃一一、掃一二  
 敷島▲、野島、佐多

【長崎】(櫻野)▲  
 (磯風)▲、(伊一八)▲、(伊二四)▲

【古江】▲、(磯風)▲、(伊一八)▲、(伊二四)▲

【鎮海】▲、(磯風)▲、(伊一八)▲、(伊二四)▲

【口七】▲、(磯風)▲、(伊一八)▲、(伊二四)▲

【作業地】  
 口出雲、口安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、  
 保津、熱海、二見、伏見、口磐手、口鳥海、  
 嵯峨、千代田、口長門、陸奥、▽金剛、  
 榛名、▽加古、古鷹、▽阿武隈、▽劍崎、  
 赤城、口高雄、愛宕、▽熊野、鈴谷、▽利根、

【航海中】

襟裳 (一月二十四日吳發—羅府へ)  
 大泊 (四日小樽發—宗谷海峽へ)  
 早鞆 (八日「タラカン」發—「マニラ」へ)  
 那智 (十日小濱發—佐世保へ)

筑摩、▽神通、▽那珂、▽五十鈴、▽飛龍、  
 蒼龍、伊勢、口千歲、駒橋、▽摩耶、神威、  
 栗、梅、蓮、▽松風、朝風、▽若葉、初霜、  
 子日、▽春風、旗風、▽村雨、春雨、  
 夕立、五月雨、▽江風、涼風、海風、山風、  
 白露、夕暮、有明、時雨、▽綾波、浦波、  
 大潮、朝潮、滿潮、荒潮、▽雪風、▽霞、霞、  
 陽炎、不知火、▽響、雷、電、曉、▽湖、  
 曙、臘、▽初雪、白雪、吹雪、▽望月、  
 陸月、澤風

0229

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十五年二月十一日(日)  
海軍大臣官房

○令 達

官房第七〇一號

昭和十五年二月十一日

海軍大臣

各廳長殿

恩赦ニ關スル件訓令

茲ニ皇紀二千六百年ニ當リ紀元ノ佳節ヲトシ畏クモ恩赦ノ聖詔ヲ降シ給ヒ減刑令、復権令、懲戒懲罰免除令ヲ公布セララル。皇恩優渥洵ニ感激ニ堪ヘズ乃チ篤ク聖旨ヲ奉體シテ慎重審究苟モ違由愆ル所ナキヲ期スベシ而シテ赦宥ノ惠澤ニ浴シタル者ニハ懇ニ訓誨ヲ加ヘ深ク皇恩ヲ感戴シ至誠報效ノ實ヲ擧ゲシムルコトヲ努ムベシ

官房第七〇二號

所轄長ハ昭和十五年勅令第四十七號ニ基キ執行中ノ懲罰ヲ免除セラレタル者ニ付テハ其ノ本籍、所屬、官

海軍公報 (部内限) 號外

職、階級、氏名、犯行、罰及共ノ言渡年月日、實際免除ノ手續ヲ了シタル年月日並ニ其ノ執行ヲ免セラレタル日數等ヲ海軍大臣ニ報告スベシ

所轄長ハ未ダ處分ヲ受ケザル犯行ニ付懲罰ヲ特免セラレタル者ニ對シテハ懲罰特免ノ告達ヲ爲シ准士官以上ニ在リテハ其ノ特免告達書寫ヲ添ヘ、其ノ他ノ者ニ在リテハ其ノ本籍、所屬、官職、階級、氏名、犯行及懲罰特免ノ手續ヲ了シタル年月日等ヲ夫々海軍大臣ニ報告スベシ

昭和十五年二月十一日

海軍大臣

官房第七〇三號

昭和十五年勅令第四十七號懲戒又ハ懲罰ノ免除ニ關スル件ノ精神ニ則リ廳長ハ其ノ所屬ノ工員、職員及人夫ニシテ昭和十五年二月十一日前(十一日ヲ含マズ)ノ所爲ニ付懲戒ノ處分ヲ受ケタル者ニ對シテハ將來ニ向テ其ノ懲戒ヲ免除シ未ダ處分ヲ受ケザル者ニ對シテハ

0230

之ヲ行ハザルコトニ取計フベシ但シ懲戒ニ基ク既成ノ  
效果ハ免除ニ依リ變更セララルコトナシ

昭和十五年二月十一日

海軍大臣

官房第七〇四號

昭和十五年二月十一日前(十一日ヲ含マズ)ノ所爲ニ  
依リ昭和十五年勅令第四十七號公布ノ際停職ニ在リタ  
ル者ハ同令ニ基キ辭令ヲ用ヒズ二月十一日待命ト爲リ  
タルモノトス但シ滯在地ハ從前ノ通ト心得ベシ

昭和十五年二月十一日

海軍大臣

○ 週 牒

官房機密第一一〇五號

昭和十五年二月十一日

海軍次官

各廳長 殿

懲戒、懲罰免除ニ關スル件申進

昭和十五年勅令第四十七號ニ依ル懲戒又ハ懲罰免除ニ  
關シテハ左記ノ通承知相成度

記

- 一、昭和十五年二月十一日前(十一日ヲ含マズ)ノ所爲ニ付懲戒又ハ懲罰ノ處分ヲ受ケタル者ノ將來ニ於ケル取扱ハ處罰ナカリシモノト看做サル從テ將來ニ於テ其ノ受ケタル處罰ノ爲ニ勤務日數ヲ除算セズ
- 二、既ニ處分ノ言渡アリタル懲戒又ハ懲罰ニ關シテハ履歷書中ヨリ之ヲ削除セズ昭和十五年勅令第四十七號ニ依リ免除セラレタル旨記入ス
- 三、懲罰言渡未済ノ犯行者ニ對シテハ懲罰特免ノ告達ヲ行フモ之ヲ履歷書ニ記入セズ

(限 内 部)

海軍公報(部内限)第三千四百二十七號

昭和十五年二月十二日(月)  
海軍大臣官房

○令 達

官房第六九四號  
過般静岡市ノ火災ニ因リ災害ヲ蒙リタル者トノ契約ニシテ當時履行遅延中ナルモ契約擔任官ノ應諾期間内ニ罹災シタルモノニ對シテハ被害ノ爲遅延シタル日數以内ニ限リ所管海軍監督長ノ證明ニ依リ海軍契約規程第六條第一項後段ノ規定ヲ適用セザルコトヲ得  
昭和十五年二月十日  
海軍大臣

○通 牒

軍令部 機密第一號  
昭和十五年二月六日  
軍令部臨時戰史部長  
各艦隊 各鎮守府 各要港部 參謀長殿

支那事變關係寫真蒐集ニ關スル件依頼  
目下支那事變戰史編纂中ニ有之候處左記寫真戰史挿入及附録寫真帖資料トシテ必要有之候條之ガ蒐集送付ニ關シ御配慮ヲ得度  
記

種 別	摘 要
一人物 (單身)	(一) 主要職員 司令長官、司令官、參謀長、參謀副長、首席參謀及主要幕僚 以上主要職員トシテ纏マリタルモノニテモ可ナリ 所轄長 戰死者 <small>(直接人事局及各人事務局蒐集方 依中ナルモ成ルベク戰死前ノ 近影ヲ使用致度ニ付)</small>
二艦船 (特設ヲ含ム)	單艦(船)但シ隊トシテ纏マリタルモノニテモ可ナリ

海軍公報(部内限)第三千四百二十七號

昭和十五年二月十二日

一五九

0232

<p>三 艦船以外ノ所轄(特設ヲ含ム)</p> <p>ム 施設ノ全貌 但シ各鎮特陸ハ隊員ヲ含ム</p>	<p>四 主要兵器器材施設等</p> <p>(一) 實際活用又ハ準備セシ主要ナルモノ及參考トナルモノ                  (二) 航空機及掃海具ハ成ルベク各型ニ就キ現地使用狀況                  (三) 各種施設工程                  (四) 敵ノ使用セルモノ</p>	<p>五 作戰關係</p> <p>(一) 戰況又ハ作戰ニ關係深キ狀況                  (二) 作戰計畫又ハ實施上使用セシ寫眞竝ニ圖或ハ其ノ寫眞                  (三) 戰跡                  (四) 敵ニ關スルモノ</p>	<p>六 其ノ他</p> <p>(一) 作戰行動中撮影セシモノ                  (二) 戰備關係ノモノ等                  (三) 筒人撮影ノモノニテモ有益ナル資料ト認メタルモノ</p>	<p>一 機密程度 普通ヨリ軍機程度迄ヲ含ム</p>
<p>記 事</p>				
<p>二 大 數 隨意 各一葉</p> <p>三 說 明 各葉毎ニ左記ヲ記入ス</p> <p>四 (一) 畫面ノ要旨 (二) 撮影時機 (三) 撮影場所 (四) 撮影者</p> <p>五 送付先 軍令部臨時戰史部長</p> <p>六 到着期日</p> <p>(一) 自昭和十二年七月 至同十五年二月 期間ノ分</p> <p>(二) 昭和十五年五月末日迄 右以後ノ分 隨時</p>				

0233

○艦船所在 指定ヲ要セズ

○二月十二日午前十時調

【横須賀】

春日▲、三隈▲、足柄▲、夕張▲、山城▲、迅鯨▲、

▽摩耶、比叡

島風▲、灘風▲、峯雲、沼風

呂五七▲、伊六九

掃三、掃一、掃二、掃四

富士▲、膠州、洲崎▲、尻矢

高崎▲、(翔鶴)、(伊一七)▲、(伊二三)▲

沙風、帆風、戸朔雲、夏雲、山雲

呂五四、呂五五、呂五六、戸伊一二三、

伊一二四、伊六、戸呂五八

掃五、掃六

浦賀

北▲、(香取)▲、(鹿島)▲

連▲、狹霧▲

早潮▲、(時津風)▲

大湊

波風、野風

呂五九

函館

萩▲、矢矧、淺間、淀、日向▲、風翔、最上▲

嚴島▲、鬼怒▲、龍驤▲、大鯨、扶桑▲、大井、

長鯨▲、白鷹▲、勝力▲、球磨、▽初鷹、八雲

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、

敷沙、戸東雲、白雲、薄雲、叢雲、戸菊、

戸天霧▲、朝霧▲、夕霧、葵、水無月、磯波、

矢風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、戸呂六三、呂六四、呂六八、

伊六三▲、伊五一▲、伊五九▲、伊一六、

戸伊一二三、伊一二一、戸伊六〇、伊五

掃一五▲、掃一三▲、掃一四▲、掃一六▲

攝津、隱戸

(日進)▲、(伊九)▲、(伊一五)▲

彌生▲、如月▲、夕月▲、卯月▲、黒潮▲

隅田▲、(橋立)▲、(夏潮)▲

木曾▲

伊一▲、戸伊二▲、伊三▲

(瑞鶴)▲、(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二三)▲

(伊一九)▲、(伊一〇)▲

芙蓉▲、刈萱▲

鶴見▲

(蒼鷹)▲

伊四▲

(占守)▲

因ノ島

長月▲、文月▲

江田内

平戸▲

舞鶴

吾妻▲、多摩▲、龍田▲、長良▲、天龍

秋風▲、夕風▲、羽風▲、太刀風、朝顔▲

伊五二▲

0234



【佐世保】

▽隼、鵜、鴻、鶴、千鳥  
(親潮) (天津風) △  
常磐、青葉、衣笠、加賀、名取、由良、川内、霧島、妙高、羽黑、▽八重山、能登呂、那智

梨、竹、樵、桃、柳、楡、蕁、蓼、蓬、菱、▽葦、梯、楡、初春、菊月、▽三月月、▽夕風、朝風、皐月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六一、呂三四、呂三三、▽伊六二、呂六〇、伊六一、呂六二、伊六四、▽呂六七、呂六五、呂六六

▽掃一〇、掃九、掃一一、掃一二  
敷島、野島、佐多  
(磯風) (伊一八) (伊二四) △

【長崎】

(櫻野) △

【古江】

峯風

【鎮海】

▽追風、疾風

【マニラ】

早鞆

【ロヒ】

石廊

【作業地】

▽出雲、▽安宅、鳥羽、勢多、壱田、比良、保津、熱海、二見、伏見、▽磐手、▽鳥海、嵯峨、千代田、▽長門、陸奥、▽金剛、榛名、▽加古、古鷹、▽阿武隈、▽劍埼、▽赤城、▽高雄、愛宕、▽熊野、鈴谷、▽利根、

【航海中】

襟裳 (一月二十四日吳發—羅府へ)

大泊 (四日小樽發—宗谷海峡へ)

神風 (十日横須賀發—大湊へ)

瑞穂 (十一日神社沖發—横須賀へ)

筑摩、▽神通、▽那珂、▽五十鈴、▽飛龍、若龍、伊勢、▽千歲、駒橋、神威、栗、楯、蓮、▽松風、朝風、▽若葉、初霜、子日、▽春風、旗風、▽村雨、春雨、夕立、五月雨、▽江風、涼風、海風、山風、▽白露、夕暮、有明、時雨、▽綾波、浦波、▽大潮、朝潮、滿潮、荒潮、▽雪風、▽霞、霞、陽炎、不知火、▽響、雷、電、曉、▽潮、曙、朧、▽初雪、白雪、吹雪、▽望月、陸月、凜風、沖風  
伊五三、伊五五、伊五四、伊五七、伊五六、伊五八、▽伊六七、伊七、伊六六、伊六五、▽伊七五、伊七四、▽伊六八、伊七〇、▽伊七一、伊七二、伊七三、伊七八、▽鳩、雉、友鶴、初雁、▽真鶴、掃七、掃一七、▽掃一八、掃八  
▽朝日、明石、知床、鳴戸、室戸、間宮

(限 内 部)

海軍公報(部内限)第三千四百二十八號

昭和十五年二月十三日(火)

海軍大臣官房

○ 辭 令

(各通)

通信書記 武下 正義  
遞信局書記 長 島 久

第一海軍軍用郵便所員ヲ命ス

(各通)

集配員 河内 太市  
同 鈴木 清志  
同 永田 敏幸

第一海軍軍用郵便所員ヲ命ス

但シ身分ノ取扱ハ雇員トス(以上<sup>以上</sup>前海軍省)

海軍主計大佐 笹原 宮次郎

(各通)

同 岡田 米三郎  
同 齋藤 胤雄  
同 清水 信英

海軍主計中佐

幸村 忠一

(各通)

海軍主計大佐 笠間 尙三  
同 居倉 直記

在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

同 關 徳四郎

在福岡首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

同 東 壽

在名古屋監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍主計中佐 阿部 晃音

在神戸監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上<sup>以上</sup>前海軍航空本部)

○ 雜 款

○ 旗艦復歸

第一遣支艦隊司令長官ハ二月二十四日旗艦ヲ伏見ヨリ  
安宅ニ復歸セリ

○ 司令驅逐艦變更

第三十二驅逐隊司令ハ二月五日司令驅逐艦ヲ阜月ヨリ  
長月ニ變更セリ

○ 郵便物發送先

海軍公報(部内限)第三千四百二十八號

昭和十五年二月十三日

一六三

0236

横須賀警備戰隊司令部、軍艦摩耶、比叡、第九驅逐隊  
(朝雲、山雲、夏雲)宛

自今

横須賀

第二十九驅逐隊(追風、疾風)宛

二月十八日迄ニ到達見込ノモノハ

鎮海

同 二十三日迄ニ

木浦

同 二十六日迄ニ

麗水

其ノ後ハ

鎮海

驅逐艦沼風宛

二月十四日迄ニ到達見込ノモノハ

横須賀

其ノ後ハ

大湊

○事務所設置

軍艦蒼鷹艦裝具事務所ヲ兵庫縣赤穂郡相生町播磨造船所内ニ設置シ二月八日ヨリ事務ヲ開始セリ

軍艦古守艦裝具事務所ヲ岡山縣兒島郡日比町玉造船所内ニ設置シ二月七日ヨリ事務ヲ開始セリ

○郵便物表記ニ關スル件

當武官府宛郵便物ハ往々支那郵便局ヲ經由配達セラルルコト有之候モ支那郵便局ヲ經由スル場合ハ開封檢閱セラルル虞アルヲ以テ自今當武官府宛郵便物ハ左記ノ通表記相成度

追テ北京海軍武官ト表記セズ日本海軍武官ト記シ必ズ軍事郵便ト朱書(又ハ赤色捺印)ノコトニ取計ヲ得度

記

北支第一野戰郵便局氣付

日本海軍武官

軍事郵便

(北京在勤海軍武官)

○懲罰

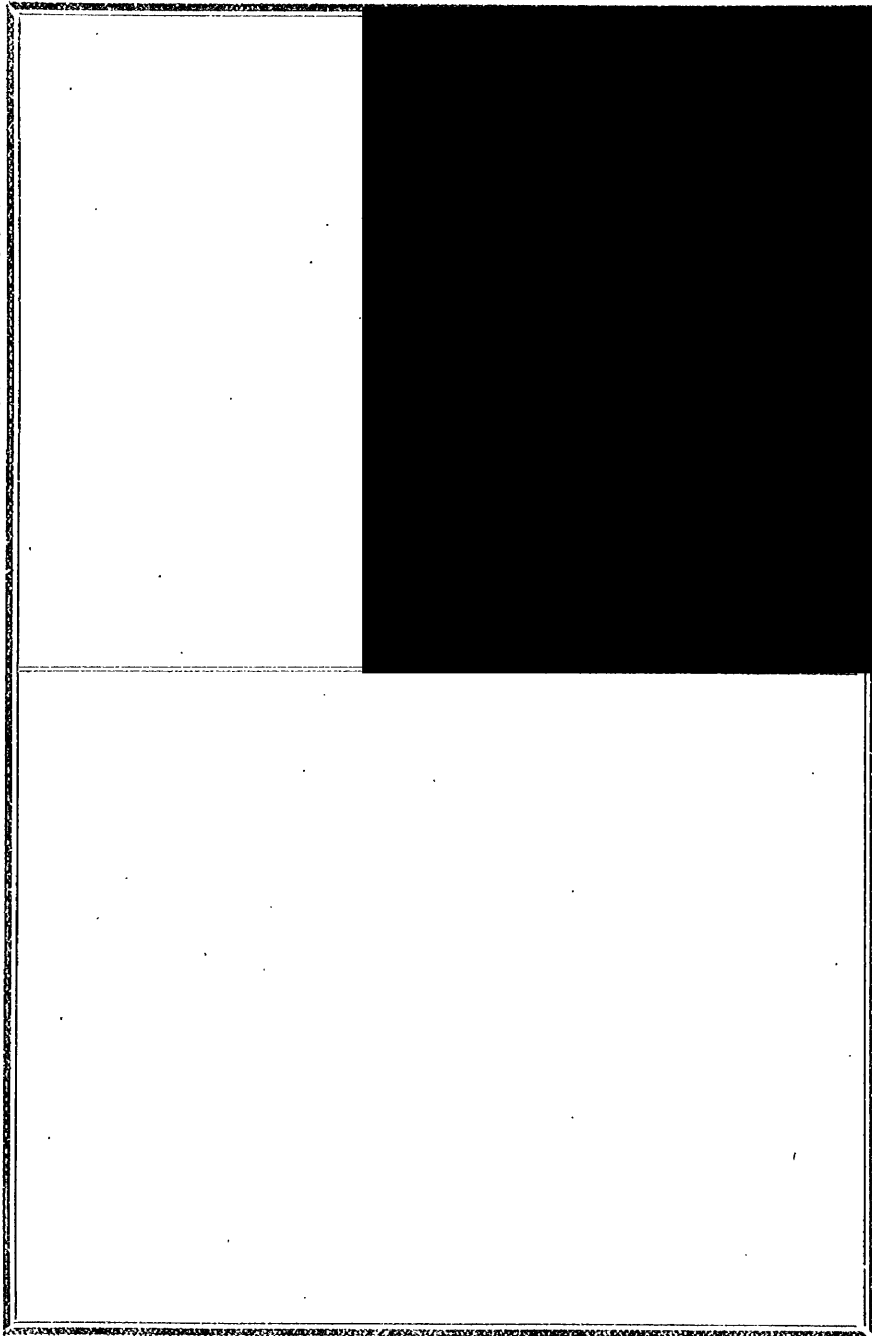
懲罰言渡書

0237

海軍公報(部内限) 第三千四百二十八號

昭和十五年二月十三日

一六五



0238

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○二月十三日午前十時調

【横須賀】

春日、三隈、足柄、夕張、山城

▽摩耶、比叡、瑞穂

島風、灘風、峯雲、沼風

呂五七、伊六九

▽掃三、掃一、掃二、掃四

富士、膠州、洲崎、尻矢

高崎、(翔鶴)、(伊一七)、(伊二三)

△沖島

沙風、帆風、(朝雲、夏雲、山雲)

呂五四、呂五五、呂五六、(伊一二三、伊一二四、伊一六、(呂五八、掃五、掃六)

△(香取)、(鹿島)

△北上

△(早潮)

△(時津風)

△(早潮)

△(早潮)

△(早潮)

△(早潮)

△(早潮)

△(早潮)

△(早潮)

△(早潮)

△(早潮)

△(早潮)

△(早潮)

△(早潮)

△(早潮)

△(早潮)

△(早潮)

△(早潮)

△(早潮)

△(早潮)

△(早潮)

△(早潮)

敷波、(東雲、白雲、薄雲、叢雲、(掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六、掃七、掃八、掃九、掃十、掃十一、掃十二、掃十三、掃十四、掃十五、掃十六、掃十七、掃十八、掃十九、掃二十、掃二十一、掃二十二、掃二十三、掃二十四、掃二十五、掃二十六、掃二十七、掃二十八、掃二十九、掃三十、掃三十一、掃三十二、掃三十三、掃三十四、掃三十五、掃三十六、掃三十七、掃三十八、掃三十九、掃四十、掃四十一、掃四十二、掃四十三、掃四十四、掃四十五、掃四十六、掃四十七、掃四十八、掃四十九、掃五十、掃五十一、掃五十二、掃五十三、掃五十四、掃五十五、掃五十六、掃五十七、掃五十八、掃五十九、掃六十、掃六十一、掃六十二、掃六十三、掃六十四、掃六十五、掃六十六、掃六十七、掃六十八、掃六十九、掃七十、掃七十一、掃七十二、掃七十三、掃七十四、掃七十五、掃七十六、掃七十七、掃七十八、掃七十九、掃八十、掃八十一、掃八十二、掃八十三、掃八十四、掃八十五、掃八十六、掃八十七、掃八十八、掃八十九、掃九十、掃九十一、掃九十二、掃九十三、掃九十四、掃九十五、掃九十六、掃九十七、掃九十八、掃九十九、掃一百)

△天霧

呂五一、呂五三、呂五六、呂二七

呂二八、伊六三、伊五一、伊五九

伊一六、(伊一二二、伊一二一)

▽掃一五、掃一三、掃一四、掃一六

攝津、隱戸

(日進)、(伊九)、(伊一五)

彌生、如月、夕月、卯月、黒潮

(隅田)、(橋立)、(夏潮)

△木曾

伊一、(伊二、伊三)

(瑞鶴)、(初風)、(伊二〇)、(伊二二)

(伊一九)、(伊一〇)

芙蓉、刈萱

△鶴見

△(蒼鷹)

△(占守)

(因ノ島) 長月、文月

(江田内) 平戸

【舞鶴】 吾妻、多摩、祖田、長良、天龍

△秋風、夕風、羽風、太刀風、朝顔

伊五二

海軍公報(部内限) 第三千四百二十八號

昭和十五年二月十三日

一六七

【佐世保】

呂隼▲、鴨▲、鴻▲、鶴▲、千鳥  
 (親潮)▲、(天津風)▲  
 常磐、青葉▲、衣笠▲、加賀▲、名取▲、由良、  
 川内▲、霧島、妙高▲、羽黒、▽八重山、  
 能登呂、那智  
 梨、竹、榎、桃、柳、檜、董、蓼、蓬、菱、  
 ▽葦▲、栉▲、楡▲、初春、菊月▲、▽三日月▲  
 ▽夕風、朝風、阜月  
 呂三〇、呂三一、呂三二、呂六一、  
 呂三四▲、呂三三▲、▽伊六二▲、呂六〇、  
 伊六一▲、呂六二▲、伊六四▲、▽呂六七、  
 呂六五、呂六六  
 ▽掃一〇、掃九、掃一一、掃一二  
 敷島▲、野島、佐多  
 (磯風)▲、(伊一八)▲、(伊二四)▲

【長崎】

(櫻野)▲  
 (磯風)▲、(伊一八)▲、(伊二四)▲

【古江】

峯風  
 追風、疾風

【鎮海】

早鞆  
 出雲、▽安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、  
 保津、熱海、二見、伏見、▽磐手、▽鳥海、  
 嵯峨、千代田、▽長門、陸奥、▽金剛、  
 榛名、▽加古、古鷹、▽阿武隈、▽劍埼、  
 赤城、▽高雄、愛宕、▽熊野、鈴谷、▽利根、  
 筑摩、▽神通、▽那珂、▽五十鈴、▽飛龍、

【航海中】

襟裳

二月二十四日吳發—羅府( )  
 石廊 (十一日ヒロ發—吳( ))  
 伊六〇、伊五、▽呂六三、呂六四、呂六八 (十二  
 日吳發—豊後水道( ))

若龍、伊勢、▽千歲、駒橋、神威、迅鯨、  
 栗、梅、蓮、▽松風、朝風、▽若葉、初霜、  
 子日、▽春風、旗風、▽村雨、春雨、  
 夕立、五月雨、▽江風、涼風、海風、山風、  
 ▽白霧、夕暮、有明、時雨、▽綾波、浦波、  
 ▽大潮、朝潮、滿潮、荒潮、▽雪風、▽霞、霞、  
 陽炎、不知火、▽響、雷、電、曉、▽潮、  
 曙、朧、▽初雪、白雪、吹雪、▽望月、  
 陸月、沖風  
 伊五三、伊五五、伊五四、伊五七、  
 伊五六、伊五八、▽伊六七、伊七、伊六六、  
 伊六五、▽伊七五、伊七四、▽伊六八、  
 伊七〇、▽伊七一、伊七二、伊七三、伊八  
 鷲、鳩、雉、友鶴、初雁、▽真鶴  
 掃七、掃一七、▽掃一八、掃八  
 朝日、明石、知床、鳴戸、室戸、間宮、  
 大泊

# 海軍公報

(部内限) 第三千四百二十九號

海軍大臣官房

昭和十五年二月十四日(水)

## ○令 達

官房機密第七九五號ノ二  
 本年官房機密第七九五號中「本年内令」ノ上ニ「昭和十四年内令第四十五號竝ニ」ヲ加フ  
 昭和十五年二月一日

海軍大臣

(参照) 本年官房機密第七九五號ハ海軍島根據地隊司令部ニ照  
 時増設ノ者ノ經費管理ノ件ナリ

官房第七五一號

タービン發電機械ニ附屬ノ復水装置ハ艦船ニ供給裝備  
 ノ際左ノ通補助機械及機關附屬物ニ編入スベシ  
 大正三年官房第六九二號ハ之ヲ廢止ス(海)

昭和十五年二月十四日

海軍大臣

補助機械ニ編入スベキモノ  
 復水装置(補用品類ヲ除ク)

機關附屬物ニ編入スベキモノ  
 前記ニ對スル補用品類

## ○通 牒

海人第一號ノ二〇

昭和十五年二月十四日

海軍省人事局長

海軍諸例  
則登載

關係各廳長殿

特殊任用進級取扱ニ關スル件通牒

戰時又ハ事變ノ際殊勳ヲ奏シタル者又ハ勳功顯著ナル  
 者ニシテ其ノ戰時又ハ事變中傷疾又ハ疾病ノ爲危篤ニ  
 陥リタルモノノ特殊任用進級取扱ニ關シ疑義アル向有  
 之候處海軍武官任用令第二十三條第二號、海軍武官進  
 級令第十八條第二號及海軍兵進級規則第十八條第二號  
 ノ規定ニ依ル危篤ノ原因ハ公務タルト非公務タルトヲ  
 問ハザル義ト了知相成度

航本機密第一四九八號

昭和十三年航本機密第三一〇九號航空發動機ノ名稱並ニ製造番號附與様式第二、(一)制式發動機ノ製造番號中×印ヲ×〇印ニ改ム

昭和十五年一月十三日

海軍航空本部長

○雜款

○將旗移揚、復歸  
第四潜水戦隊司令官ハ二月七日將旗ヲ劍埼ヨリ伊號第七潜水艦ニ移揚シ同九日劍埼ニ復歸セリ

○特設運送船朝光丸行動豫定

地名	着	發
大湊		二月十三日
舞鶴		二月二十日
大阪	二月十五日	二月二十八日
神戸	二月二十三日	二月二十八日
横須賀	三月一日	

○郵便物發送先  
軍艦香取、鹿島艦裝員及同附ニ對スル給與通牒ハ左記宛御送付相成度爲念

記  
横濱市中區綠町三菱重工業株式會社横濱船渠  
香取臨時資金前渡官吏  
鹿島臨時資金前渡官吏

特設運送船朝光丸宛

二月二十日迄ニ到達見込ノモノハ  
同 二十七日迄ニ 同  
其ノ後ハ  
舞鶴 大阪 横須賀



○艦船所在

指印ハ「ハカ」ノ  
指定ヲ要セズ

○二月十四日午前十時調

【横須賀】春日▲三隈▲足柄▲夕張▲山城、

▽摩耶、比叡、瑞穂

島風▲灘風▲峯雲▲沼風▲

呂五七▲伊六九▲

▽掃三、掃一▲掃二、掃四

富士▲膠州、洲崎▲尻矢

(高崎)▲(翔鶴)▲(伊一七)▲(伊二三)▲

【長浦】△沖島

汐風、帆風、△朝雲、夏雲、山雲

呂五四、呂五五、呂五六、△伊一二三、

伊一二四、伊六六、△呂五八

掃五、掃六

【横濱】(香取)▲(鹿島)▲

浦賀▲北上▲

漣▲狹霧▲

(早潮)▲(時津風)▲

【館山】澤風▲

【大湊】△波風、野風、神風

呂五九

【函館】萩▲

【吳】矢矧、淺間、淀、日向▲鳳翔、最上▲

嚴島▲鬼怒▲龍驤▲大鯨、扶桑▲大井、

長鯨▲白鷹、勝利、▽球磨、初鷹、八雲

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、

敷波、△東雲、白雲、薄雲、叢雲、菊、

△天霧▲朝霧▲夕霧、葵、水無月、磯波▲

矢風

呂五一、呂五三、呂二六▲呂二七▲

呂二八▲伊六三▲伊五一▲伊五九▲

伊一六、△伊一二二、伊一二一

雁 掃一三▲掃一四▲

掃津▲隱戸

(日進)▲(伊九)▲(伊一五)▲

彌生▲如月▲夕月▲卯月▲黒潮▲

(隅田)▲(橋立)▲(夏潮)▲

【神戶】木曾▲

伊一▲△伊二▲伊三▲

(瑞鶴)▲(初風)▲(伊二〇)▲(伊二二)▲

(伊一九)▲(伊一〇)▲

【相生】芙蓉▲刈萱▲

鶴見▲

(蒼鷹)▲

【玉】伊四▲

(占守)▲

【因ノ島】△長月▲文月▲

【江田内】平戸▲

【安下庄】△掃一五、掃一六

【佐伯】△伊六〇、伊五、△呂六三、呂六四、呂六八

【舞鶴】吾妻▲多摩▲龍田▲長良、天龍

海軍公報(部内限)第三千四百二十九號

昭和十五年二月十四日

一七二

□秋風、夕風、羽風、太刀風、朝顔▲

伊五二▲

□雫、鴨、鴻、鶴、千鳥

(親潮)▲、(天津風)▲

【佐世保】

常磐、青葉、衣笠、加賀、名取、由良、川内、霧島、妙高、羽黒、能登、那智、梨、竹、榎、桃、柳、檜、蓮、蓼、菱、

□葦、柿、楡、初春、菊月、□三日月▲

□夕風、朝風、皐月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六一、

□呂三四▲、呂三三▲、□伊六二▲、呂六〇、

伊六一▲、呂六二▲、伊六四▲、呂六五

□掃一、掃一〇、掃九、掃一二

敷島▲、野島、佐多

(磯風)▲(伊一八)▲(伊二四)▲

【長崎】

(櫻野)▲

【古江】

峯風

【鎮海】

□追風、疾風

【マニラ】

早靨

【作業地】

□出雲、□安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、伏見、□磐手、□鳥海、嵯峨、千代田、□長門、陸奥、□金剛、榛名、□加古、古鷹、□阿武隈、□劍埼、□赤城、□高雄、愛宕、□熊野、鈴谷、□利根、筑摩、□神通、□那珂、□五十鈴、□飛龍、

蒼龍、伊勢、□千歳、駒橋、神威、迅鯨、栗、梅、蓮、□松風、朝風、□若葉、初霜、

子日、□春風、旗風、□村雨、春雨、夕立、五月雨、□江風、涼風、海風、山風、

□白露、夕暮、有明、時雨、□綾波、浦波、□大潮、朝潮、滿潮、荒潮、□雪風、□霞、霞、

陽炎、不知火、□響、雷、電、曉、□潮、曙、臘、□初雪、白雪、吹雪、□望月、

陸月、沖風

□伊五三、伊五五、伊五四、伊五七、

□伊五六、伊五八、□伊六七、伊七、伊六六、

伊六五、□伊七五、伊七四、□伊六八、

伊七〇、□伊七一、伊七二、伊七三、伊八

鷲、鳩、雉、友鶴、初雁、□真鶴

□掃七、掃一七、□掃一八、掃八

□朝日、明石、知床、鳴戸、室戸、間宮、

大泊

【航海中】

襟裳 (一月二十四日吳發—羅府へ)

石廊 (十一日ヒロ發—吳へ)

□八重山、□呂六七、呂六六 (十三日佐世保發—鎮海へ)

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十五年二月十四日(水)  
海軍大臣官房

○ 辭 令

昭和十五年一月十五日

敍從四位

海軍技師 國富 信一

海軍大佐

同 小西 千比古  
同 中嶋 省三郎  
同 前田 永稔  
同 徳永 榮  
同 吉良 祐一  
同 八代 俊吉  
同 多田 武雄  
同 松永 貞市  
同 酒卷 宗孝  
同 中原 義正  
同 保科 善四郎  
同 一瀬 信一  
同 山崎 重暉  
同 伊藤 賢三  
同 大森 仙太郎

(各通)

同 海軍機關大佐 草鹿 龍之介  
同 同 中村 信三郎  
同 同 山崎 眞澄  
同 同 山住 松雄  
同 同 永松 義勝  
同 同 小澤 林治  
同 同 小野 達庵  
同 同 菅本 直暢  
同 同 菅田 直樹  
同 同 石黒 芳雄  
同 同 上原 純之助  
同 同 柴田 敏夫  
同 同 柴田 敏夫  
同 同 横尾 石夫  
同 同 横尾 石夫  
同 同 米花 徳太郎  
同 同 森島 徳太郎  
同 同 江崎 種雄  
同 同 新井 岩吉  
同 同 新井 岩吉  
同 同 清水 政太郎  
同 同 清水 政太郎  
同 同 新田 重治

海軍公報 (部内限) 號外

彼正五位

(各通)

彼正六位

同 名和武

海軍少佐

海軍機關少佐

海軍主計少佐

海軍大尉

今村 義明

高塚 美實

住山 勝美

唐島 辰男

工藤 兼男

橋藤 琢太

伊藤 廣藏

高橋 聖勝

浦部 榮彦

中島 肇

小笠原 昌彦

森岡 昌實

重村 憲太郎

三浦 憲太郎

田邊 彌一

高橋 赫一

原田 赫一

五十嵐 周正

森卓 次

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

柴田 彌五郎

坂東 正輝

藺賀 美繁

古賀 繁茂

小林 茂雄

小柳 稔

柳見 稔

田口 五郎

勝見 五郎

山野 實

清水 秀夫

淺井 秋生

飛田 清

梶本 信

神本 七雄

宮内 辰三

境內 七雄

肝付 辰三

岩澤 正明

横田 一元

菅田 次郎

石井 明

久保 平次

荒木 保

角田 政

寺崎 與政





(各通)

海軍主計中將  
海軍少將

川瀬義重  
近藤英次郎  
戸荻隆始  
平井博

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

(各通)

海軍主計少將

海軍造船少將

海軍造兵少將

海軍大佐

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

海軍整備特務大尉  
昭和十五年一月二十日

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

海軍整備特務大尉

(各通)		海軍機關中佐		河野 仲次	
海軍少佐		青柳 利傳次			
彼從五位 (特旨ヲ以テ位一級被進)		海軍少佐		川本 彰	
同		同		椿 正憲	
同		同		德丸 常市	
同		同		鈴木 貞之助	
同		同		綾野 多三郎	
同		同		福本 貞祐	
同		同		有角 與一郎	
海軍機關少佐		同		松村 福一	
同		同		小林 嘉瑞	
同		同		水野 関松	
海軍大尉		同		池谷 昇	
海軍特務大尉		同		楠見 正一	
同		同		鬼塚 采雄	
同		同		横森 太孝	
同		同		市川 高義	
同		同		松尾 縫藏	
同		同		水野 春三郎	
同		同		廣川 誠一	
同		同		関根 徳一	
海軍整備特務大尉		同		大津 幸次郎	
海軍機關特務大尉		同		吉田 定雄	
同		同		堀端 喜一	
(各通)		海軍大尉		源馬 元助	
昭和三十五年二月一日		同		榎本 義平	
彼從六位 (特旨ヲ以テ位一級被進)		同		豐田 平三郎	
同		同		生地 彌一郎	
同		同		相川 政次郎	
同		同		友納 伊八	
同		同		北藤 良平	
同		同		伊藤 久藏	
同		同		坂口 嘉六	
同		同		桑野 嘉六	
海軍工作特務大尉		同		工藤 石藏	
海軍看護特務大尉		同		土門 喜代治	
海軍特務大尉		同		勝部 泰嶽	
(各通)		海軍大佐		仲村 保造	
海軍參與官		同		小山 邦太郎	
彼正五位		海軍主計中佐		南部 忠藏	
彼從五位		海軍航空特務大尉		常石 博好	
彼正六位		海軍大尉		森永 健三	
同		海軍機關大尉		有吉 亀雄	

0250



(各通)	海軍整備特務大尉 海軍機關特務大尉 同 同 同 同 海軍特務中尉 同 同	敍從六位	(各通)	海軍技師 海軍助教 海軍助手 同	敍從七位	海軍少尉 海軍機關少尉 海軍豫備少尉 同 同 同 同
	水足豐來 中村金一 鈴木惣三郎 田口忠兵衛 小泉留衛 森藤治 鈴木芳二 小林千城 加藤壽信 南榮太郎 岸部政吉 川波幸助		米谷省一 高村光錫 梁元治 大部元治		山口隆義 伊藤芳生 松本金十郎 成鉄得 濱田勝 四元貞夫 八幡泰次	
(各通)	海軍豫備機關少尉 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同	敍正八位	昭和十五年二月二日	敍正五位	海軍少將 海軍造船大佐 海軍造艦大佐 同 同 同 同 同 同 同 同	
	八坂武彦 秋本八八 橋源八八 開發剛 山崎剛 松本公輔 安田寅志 大宅嘉雄 高濱柴雄 鈴木隆平 石川野 菅野隆平		岸本鹿子治	畑敏男	○正誤 二月五日附木欄記事申「敍從七位 海軍造兵中尉有地次郎」ヲ削ル(済)	